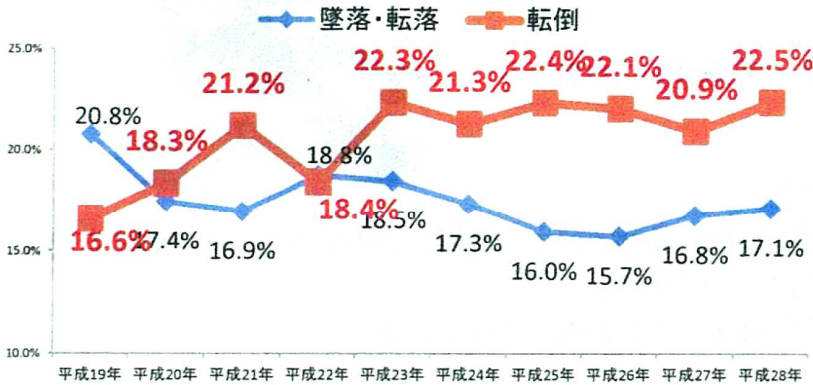


## 職場での転倒災害を減らしましょう!!!



転倒災害は、最も多い災害でしかもその割合は年々増加、平成28年12月末は22.5%（平成27年度20.9%）、急増中

第三次産業で、特に、小売業、社会福祉施設で多く発生。



業種別転倒災害発生割合（平成27年）

業種	転倒	割合
全産業	617	20.9%
製造業	124	16.1%
建設業	33	10.2%
運輸交通業	65	15.4%
第3次産業	368	29.0%
小売業	115	34.6%
社会福祉施設	74	32.3%
飲食店	22	20.8%

あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート

チェック項目	✓
1 通路、階段、出口に物を放置していませんか	—
2 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	—
3 安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	—
4 転倒を予防するための教育を行っていますか	—
5 作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	—
6 ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	—
7 段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていませんか	—
8 ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	—
9 ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	—

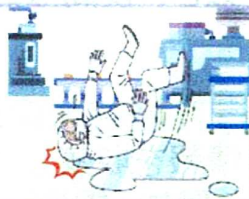
転倒災害の典型的なパターン **すべる つまずく 踏み外す**

例えば、こんなことはありませんか？

濡れた床面ですべって

食品製造機械の周りの床が水でぬれていたため、掃除用具を取りに行ったところ、濡れていた床面ですべって転倒し、頭部を強打した。

業種 食品製造業



台車につまずいて

バックヤードで商品の検査中に、応援要請があり、店内のレジに向かう途中、台車に足を引っ掛けて転倒し、捻挫した。

業種 小売業



階段を踏み外して

段ボール箱を抱えて階段を下りていた時に、足元が見えず階段を踏み外し転倒した。

業種 飲食店



50代以上で6割超。

転倒災害年齢別休業率の発生割合（平成27年）

	20代	30代	40代	50代	60代	
全産業	2.0%	12.8%	16.7%	24.4%	21.9%	22.3%
転倒	0.8%	5.8%	12.0%	20.4%	28.4%	32.6%

社会福祉施設で長期化。

業種別転倒災害休業見込み（平成27年）

業種	1か月以上	3か月以上
全産業	64.4%	12.9%
製造業	57.4%	9.4%
建設業	60.6%	15.2%
運輸交通業	60.0%	8.9%
小売業	64.3%	13.0%
社会福祉施設	76.0%	21.3%
飲食店	54.5%	13.6%

## 転倒災害防止対策のポイント

転倒災害対策事例は、厚生労働省ホームページの「STOP! 転倒」で検索しご覧ください。

▶ 転倒災害を防止することで、安心して作業が行えるようになり、作業効率も上がります。整理整頓、ストレッチ体操等できるところから少しずつ取り組んでいきましょう。

4S (整理・整頓・清掃・清潔)	転倒しにくい作業方法 「あせらない 急ぐときほど 落ち着いて」	その他の対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行場所に物を放置しない</li> <li>床面の汚れ（水、油、粉など）を取り除く</li> <li>床面の凹凸、段差などの解消</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間に余裕を持って行動</li> <li>滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行</li> <li>足元が見えにくい状態で作業しない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業に適した靴の着用</li> <li>職場の危険マップの作成による危険情報の共有</li> <li>転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起</li> <li>転ばないからだづくり（ストレッチ体操等身体機能の維持・向上）</li> </ul>